X-Air（クロスエアー）

取扱説明書

この度は X-Air（クロスエアー）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。X-Air は手軽に音楽を楽しめるポータブルデジタルオーディオプレーヤーです。本取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。

音楽を楽しむためのマナー

音楽をお楽しみになる際は、周囲の迷惑とならない音量でお聴きください。また、夜間では小さな音も遠くまで聞こえるようになりますので、音量には充分配慮した上でお楽しみください。

目　次

はじめに

準備

基礎編

応用編

困ったとき

付録

索引

その他

はじめに

製品の特長、安全上の注意、付属品、ご利用にあたってのお願いを記載しています。X-Air をはじめてお使いになる場合に必ずお読みください。

製品の特長

■ WMA（DRM 対応）、MP3 再生

WMA 形式、MP3 形式に対応。WMA 形式は Windows Media DRM に対応しているため、インターネットからダウンロードした音楽も手軽に持ち運んでお楽しみいただけます。

■ダイレクトレコーディング＋オートシンク機能

付属のダイレクトレコーディングケーブルを使えば、パソコンを使わずに、CD や MD などのオーディオ機器から直接録音が可能です。また曲の切れ目を自動感知してくれるオートシンク機能も搭載しています。

■ FM ラジオ & 録音機能

FM ラジオや 1 ～ 3ch の TV 音声を自在に楽しめます。もちろん録音もできますので、お気に入りのプログラムをゲット。また、76MHz ～ 108MHz の範囲内であれば海外でもご使用になれます。

■ボイスレコーダー搭載

本体にマイクを内蔵。簡単操作でボイスレコーディングができます。ミーティングやレッスンの録音はもちろん、とっさの時にボイスメモが残せて便利です。

■ 多彩なイコライザー機能

ノーマル / ロック / ジャズ / クラシック / ポップ の 5 つの音楽ジャンルに最適化されたプリセットイコライザー、ユーザーが好みの音質に調整できるユーザーイコライザーを搭載。臨場感あるサウンドが楽しめる SRS WOW エフェクトで、さらに音質にこだわることができます。

■ 高速 USB2.0/USB マスストレージクラス対応

USB2.0 に対応した USB 端子を搭載している為、パソコンとの接続は簡単でしかも高速です。また、USB マスストレージクラスに対応しているので、特別なドライバソフトのインストールも不要です。（ 但し、Windows98SE は付属のドライバソフトウェアのインストールが必要です。）

■ 多彩な再生機能

同一箇所を繰り返し聴きたいときに役立つ A-B リピート機能をはじめ、1 曲リピート、全曲リピート、シャッフル再生など多彩な再生方法が選択できます。

必ずお読みください

■著作権についてのご注意

他者の著作物または歌唱・演奏の録音物を、私的な目的以外で、著作権者および他の権利者の許諾を得ずに複製することは、著作権法および国際条約の規定により禁止されています。また、実際に配信が行われているか否かにかかわらず、私的な目的で作成した複製物であっても、他者の著作権物または歌唱・演奏の複製物を、著作権者およびその他の権利者の許諾を得ずに、電気通信等の手段で配信が可能な状態にすることは、禁止されています。当社は本製品が上記の注意事項を守られず使用された場合、一切の責任を負わないこととします。

■商標について

X-Air（クロスエアー）の名称は、シーグランド株式会社の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Media Player は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。その他記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

■パソコンでの操作について

本取扱説明書では、パソコンの操作方法についても一部紹介をしておりますが、パソコン本体、OS、その他アプリケーションの操作については、ご利用されている製品の取扱説明書をご覧ください。不明点は、これらの製造元にお問い合わせください。

- お客様または第三者が、本製品またはパソコンや各アプリケーションの誤使用、使用中に生じた故障、メモリーの消失、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書の一部または全部をシーグランド株式会社の許可なく複製することはできません。
- 本取扱説明書に記載されている内容を、製品の機能の改善・改良を目的とし、将来予告なしに変更する可能性があります。
- 本取扱説明書は万全の注意を払って制作していますが、取扱説明書を参考にした操作において損害が生じても責任は負いません。
- 本取扱説明書は開発中の製品を元に制作されており、実際の製品とは一部外観が異なるものがあります。
- 画面ショットは、Windows XP および Windows Media Player バージョン 10 を使用しています。お使いのパソコン環境によっては細部が異なることがあります。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

製品を安全にお使いいただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。お読みになった後は、必要なときにご覧になれるように、本取扱説明書を大切に保管してください。

■警告表示の意味

本取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

この記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容が記載されていることを示します。

この記号は、行為を禁止する内容が記載されていることを示します。

⚠警告　下記の注意事項を守らないと大けがの原因となります。

■運転中は使用しない

運転をしながらイヤホンを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。

また、歩きながら使用する際も、事故を防ぐために、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

■煙が出たり、変なにおいがするときは、ただちに使用を注意する

万一、異常が発生した場合はすぐに使用を中止し、お買い上げ店または弊社サポートセンターにご相談ください。そのまま使用すると感電したり火災の原因となります。

正しく接続する本製品をパソコンに取り付ける場合は、必ず本取扱説明書で接続方法を確認し、正しく接続してください。誤った接続をすると、パソコンや本製品から発煙したり火災の原因となります。

■分解・改造しない

感電、火災、火傷などの事故の原因となります。修理はお買い上げ店または弊社サポートセンターにご依頼ください。改造した場合、保証期間であっても有料修理となります。

■濡らさない

本製品を調理台や加湿器のそば、風呂場などの水などの濡れやすい場所または水のかかりやすい場所に置いたりご使用にならないでください。火災や発熱、感電、破損、故障の原因となります。

万一、水に濡れた場合は、すぐに電源をオフにし、お買い上げ店または弊社サポートセンターにご相談ください。この場合、保証期間であっても有料修理となります。

■振り回さない

イヤホンコード、オーディオケーブルなどを持って本製品を振り回さないでください。周囲の人がけがをする恐れがあります。

警告 下記の注意事項を守らないと大けがの原因となります。

■端子部に金属類を差し込まない

ジャックなどに金属類を差し込まないでください。回路のショートや故障の原因となります。

■雷が鳴り出したら、ただちに使用をやめる

感電の原因となります。

■ガス管にケーブル類やイヤホンをつながない

火災や爆発の原因となります。

⚠注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

■大音量で長時間連続で聞きすぎない

大きな音量で長時間続けて聞くと耳を刺激しすぎてしまい、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にイヤホンで聞く場合には注意し、周囲の音が聞こえるくらいの音量でお聞きください。

■はじめからボリュームを上げすぎない

再生時にボリュームが上がりすぎていると、突然大きな音が鳴って耳をいためることがあります。ボリュームは再生しながら徐々に上げていきましょう。

■コード類は正しく配置する

本体と他の機器をケーブルを使って接続をする際に、コードを正しく配置しないと足などにひっかけて機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して、接続・配置してください。

■ぐらついた台や傾いた場所に置かない

落下し、故障の原因となります。

■幼児の手の届くところにおかない

けがなどの事故の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険

- ●単 **4** 型アルカリ乾電池以外を使用しない。
- ●ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやヘアピン、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- ●火のそば、ストーブのそば、炎天下などの高温の場所で使用、放置しない。
- ●分解・改造しない。
- ●強い衝撃を与えない。

もし電池の液が漏れたときは、漏れた液を拭き取り、ご利用を中止してください。万一、液が体についたときは傷害を起こす恐れがあります。すぐにきれいな水でよく洗い流してください。漏液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療をうけてください。

⚠警告

- ●火の中に投入したり、ハンダ付けしない。
- ●指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ●液漏れや異臭がしたら、使用をやめ、ただちに火気より遠ざける。

本製品は、故障・修理などによってデータが消えることがあります。万一データが消えても、当社としては内容についての責任は負いかねます。重要なファイルについては、このような場合に備えて、定期的にバックアップをお取りください。

ご利用にあたってのお願い

■ 本製品をパソコンに接続してファイルを読み書きしている最中は、パソコンから本製品を抜かないでください。故障、データ破壊の原因となります。

■ 本製品をパソコン本体に挿したままパソコンを起動した場合、本製品を認識しない場合があります。その場合は、いったん抜いてから挿し直してください。

■ USB ハブに本製品を挿す場合、ご利用の環境によっては正常に動作しない場合があります。その場合は、パソコン本体の USB ポートに直接挿し込んでください。

■ 本製品はサスペンド / スタンバイ / スリープなどのモードに対応しておりません。

■ USB ポートに挿しても、まれに認識しない場合があります。その場合は、いったん抜いてから挿し直してください。

■ 録り直しのきかない録音の場合、必ず事前に試し録音をしてください。

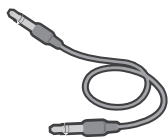
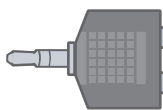
■ 操作上の問題または本製品の不具合により、正常に録音されなかった場合の録音内容の保証についてはご容赦ください。

■ 本体は防水仕様になっていません。水に濡らしたり、湿度の高い所に置かないでください。

■ 本製品をズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。

■ 鞄などに入れる場合は、重たいものの下にならないようにご注意ください。

付属品について

本製品には、以下のような付属品が同梱されています。お使いになる前に、まず付属品がすべて揃っていることをご確認ください。万一、付属品の不足や破損がございましたら、弊社サポートセンター（**P.97**）にご連絡ください。

上記のほかに、「保証書」と「ユーザー登録はがき」が同梱されています。
また、カタログや注意書きの別紙が同梱されている場合があります。
付属の単 **4** 型アルカリ乾電池は動作確認用です。ご使用の際は別途単 **4** 型アルカリ乾電池をご用意ください。
※ イラストはイメージです。実際のものと異なります。

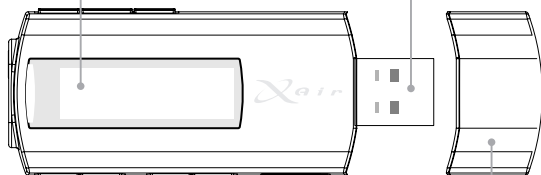
準　備

各部の名称やディスプレイに表示されるマークの意味など、X-Air の操作に必要な内容について紹介します。X-Air もしくはポータブルオーディオをはじめてご使用になられる方は必ずお読みください。

各部の名称と機能

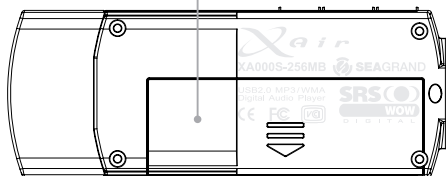
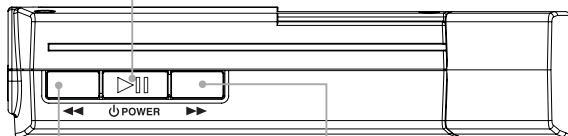
正面

ディスプレイ
ファイル名などさまざまな情報を表示します。

USB 端子
パソコンの USB ポートまたは付属の USB 延長ケーブルと接続します。

USB キャップ
USB 端子を保護するためのキャップです。
PC 接続時にはずしてご使用ください。

裏面

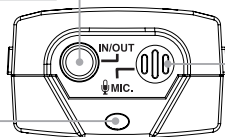
バッテリーカバー
乾電池を交換する際に開けて使用します。

上側面

⏻POWER / ▷II ボタン
電源をオン / オフしたり、オーディオファイルの再生･一時停止などに使用します。

▶▶ボタン（早送り）
オーディオファイルの頭出しや早送り、その他のさまざまな設定に使用します。

◀◀ボタン（巻戻し）
オーディオファイルの頭出しや巻き戻し、その他のさまざまな設定に使用します。

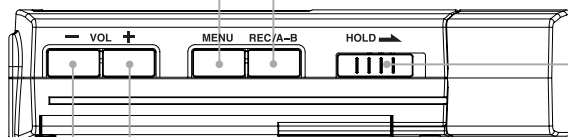
左側面

ストラップ穴
付属のネックストラップを取り付ける時に使用します。

ステレオミニジャック
付属のインナーヘッドホンやラインケーブルを接続します。

マイク
ボイス録音する時に使用します。

下側面

MENU ボタン
メニュー表示や、選択項目を設定します。

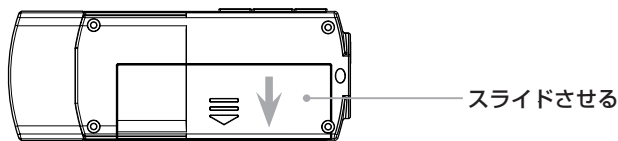
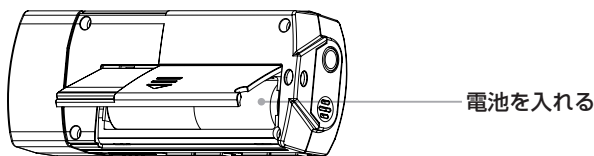
REC/A-B ボタン
録音したり、オーディオファイルの一定区間を再生する場合に使用します。

HOLD スイッチ
ボタンの誤動作を防ぎます。

VOL ＋ －ボタン
ボリューム（音量）を調整したり、項目の選択をします。

電池の取り付けかた

本製品に使用できる電源は、単 4 型アルカリ乾電池です。必ず指定の電池をご使用ください。

1. 図の部分を矢印に沿って**スライド**させます。

→ バッテリーカバーが開きます。

2. 乾電池を入れます。

※乾電池は必ずー極側から入れてください。

3. バッテリーカバーを閉じた後スライドさせます。

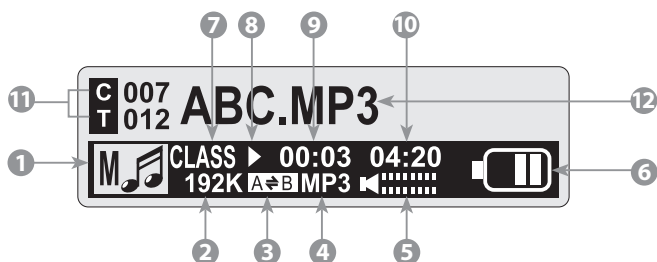
注意!

電池を交換するときは**電源**を**切って**ください。基礎編（**P.32**）

乾電池の**＋ / ー**方向を間違えないようにしてください。

単 4 型アルカリ乾電池以外を使用すると性能が低下する場合があります。

ディスプレイ表示について

音楽モード（メイン画面）

❶ 音楽モード表示
音楽モード時に表示されます。

❷ ビットレート表示
オーディオファイルのビットレートを表示します。

❸ 再生モード表示
選択している再生モードを表す文字が表示されます。
ここでは A-B リピート再生時の表示になっています。

❹ ファイル形式表示
オーディオファイルのファイル形式を表示します。

❺ ボリューム（音量）レベル表示
オーディオファイルのボリューム（音量）レベルを表示します。

❻ 電池レベル表示
電池の残量（目安）を表示します。

⑦ イコライザー / エフェクトタイプ表示

選択したイコライザー / エフェクトタイプを表示します。

⑧ 再生▶ / 一時停止 ▶I 表示

オーディオファイルの再生と一時停止状態を表示します。

⑨ タイムカウンター表示

再生 / 一時停止中の曲の経過時間を［分 : 秒］単位で表示します。

⑩ 再生時間表示

再生 / 一時停止中の曲の再生時間を［分 : 秒］単位で表示します。

⑪ 曲番号 / 曲数表示

再生 / 一時停止中の曲番号と曲数を表示します。
C：曲番号　**T**：曲数

⑫ ファイル名 /ID3 タグ情報表示

ファイル名を表示します。
ID3 タグ情報を持ったファイルはその情報が表示されます。

ボイスモード

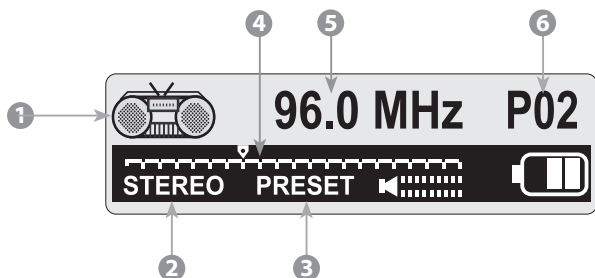
ボイスモード表示

ボイスモード時に表示されます。

ラインインモード

ラインインモード表示
(ダイレクトレコーディング)

ラインインモード（ダイレクトレコーディング）時に表示されます。

FM ラジオモード

FM ラジオモード表示

FM ラジオモード時に表示されます。

ステレオ / モノラル表示

ステレオ放送（STEREO）とモノラル（MONO) 放送を表示します。

※電波状況によりステレオ放送でもモノラル放送になってしまう場合があります。

プリセット / フリー表示

自動選局（PRESET) と手動選局（FREQUE）を表示します。

受信周波数バー表示

受信中の周波数をバー表示します。

受信周波数表示

受信中の周波数を表示します。
FM レコーディング中はファイル名が表示されます。

プリセット番号表示

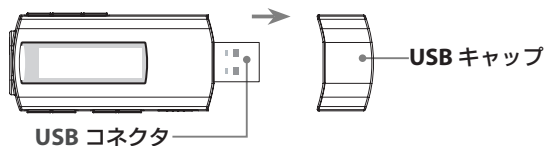
プリセット登録された周波数のプリセット番号を表示します。
手動選局の場合は表示されません。

パソコンと接続する

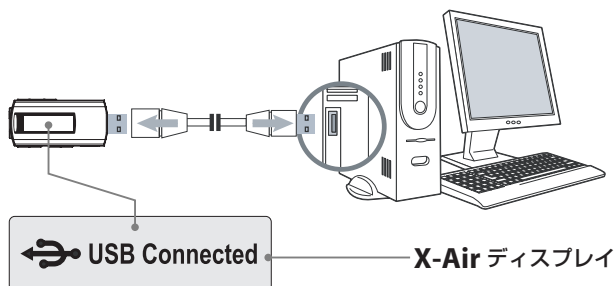
X-Air は、パソコンと **USB 接続**してオーディオファイルを本体に転送することによって、気軽に音楽を楽しめます。パソコンと接続するときは以下の手順で接続します。

1. X-Air の電源を切り、**HOLD スイッチ**をオフにします。

2. **USB キャップ**を外します。

→ **USB コネクタ**が現れます。

※ **USB キャップは失くさないようご注意ください。**

3. **USB コネクタ**をパソコンの **USB ポート**に接続します。

→ X-Air の電源が入り、ディスプレイに
USB Connected と表示されます。

※ダイレクトに接続可能な場合には付属の USB 延長ケーブルを使用する必要はありません。

4. パソコンの**マイコンピュータ**を開きます。

→ **リムーバブルディスク**と表示されます。

注意！

USB コネクタはしっかりと奥まで挿し込んでください。

USB コネクタには向きがありますのでご注意ください。

接続しにくい場合は付属の **USB 延長ケーブル**を利用してください。

本製品は **USB2.0 HI-SPEED** に対応しておりますが、USB1.1 対応ポートに接続した場合は、**USB1.1 FULL SPEED** での接続となります。

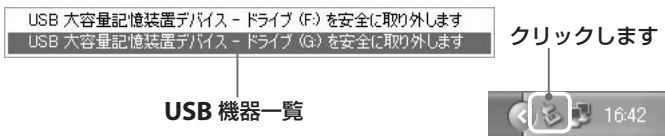
パソコンと USB 接続をしている間は、本体の操作はできません。

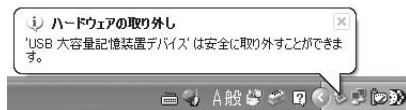
ドライブ名は、お使いのパソコンの環境（ハードディスクの状態や外付け周辺機器の状態）により自動的に割り当てられます。図では本体が**ドライブ：F** としてパソコンに認識されている状態で表示しています。

パソコンから取り外す

パソコンの電源が入っている状態で X-Air をパソコンから取り外すときは、以下の手順で取り外してください。パソコンの電源が切れているときは、以下の手順は不要です。

1. **Windows 画面右下**にある**タスクトレイ**の**ハードウェアの安全な取り外し**アイコンをクリックします。

→ パソコンに **USB 接続**されている機器の一覧が表示されます。

2. **USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ (F:)** を選択します。

→ ハードウェアの取り外し **"USB 大容量記憶装置デバイス " は安全に取り外すことができます**と表示されます。

※オーディオファイル再生中やデータ転送中は取り外せない旨の警告が表示されることがあります。必ずデータ転送等が終わってから取り外しをおこなってください。

3. **USB** ポートから X-Air を取り外します。

POINT

マウスを**右クリック**すると、**ハードウェアの安全な取り外し**メニューが表示され、**ハードウェアの安全な取り外し**ウィンドウが表示されます。この場合は X-Air（**USB 大容量記憶装置デバイス）**を選んで**停止**をクリックします。ハードウェアデバイスの**停止**ウィンドウが表示されたら **OK** をクリックしてください。

X-Air のドライブ名は、パソコンの**マイコンピュータ**で確認することができます。（**P.26**）

注意！

手順をふまずに X-Air をパソコンから取り外すと、X-Air およびパソコンに不具合が発生する場合があります。特にファイル転送中などに強制的に取り外すとファイルの損失や故障の原因となります。必ず、（**P.27**）**パソコンから取り外す**の手順で取り外してください。

ドライブ名は、お使いのパソコンの環境（ハードディスクの状態や外付け周辺機器の状態）により自動的に割り当てられます。

Windows98SE ではハードウェアの安全な取り外しが表示されない場合があります。その場合には、ファイルの転送などがおこなわれていない事を確認して、X-Air をパソコンから取り外してください。

付属ソフトウェアのインストール

付属ソフトウェア CD-ROM には、**Windows98SE** 用のドライバソフトウェアが収録されています。本製品を **Windows98SE** でお使いになる場合は X-Air の認識にドライバソフトウェアのインストールが必要です。

POINT

付属ソフトウェア CD-ROM には**ファームウェアダウンロードツール**が含まれています。Windows98SE 以外の OS をお使いの方もインストールしておくと、弊社ホームページからファームウェアをダウンロードいただき、アップデートをおこなうことが可能になります。パソコンをご利用の方はインストールされることをお勧めします。

※ファームウェア：本体の動作を制御するプログラム

●**ファームウェアのダウンロードおよびアップデート方法は下記 URL から**
http://www.seagrand.co.jp/support/download.shtml

インストール方法

1. X-Air に付属しているソフトウェア **CD-ROM** をパソコンのドライブにセットします。

→ **インストーラ**が自動で起動されます。

2. **使用許諾契約書**の**はい**を**クリック**します。

3. **次へ**を**クリック**します。

※必要であればインストール先のフォルダを指定します。

準備

準備

4. **次へ**を**クリック**します。

※必要であればプログラムフォルダを指定します。

→ インストールが開始されます。

5. **次へ**を**クリック**します。

6. X-Air をパソコンの **USB** ポートに接続します。

→ X-Air が**リムーバブルディスク**として認識されます。

注意！

インストール手順を間違えると、パソコンが X-Air を認識しなくなりますので充分にご注意ください。

Windows98SE で X-Air を使用する場合、ドライバのインストールは**最初の 1 度**だけです。2 度目からは、X-Air をパソコンの USB ポートに接続するだけで使用できます。

X-Air は USB マスストレージクラスに対応しておりますので **Windows Me/2000/XP** をご使用の場合は X-Air をパソコンの USB ポートに接続すると自動的にリムーバブルディスクとして認識されます。

基礎編

基礎編では X-Air の基本的（再生・録音・転送・FM ラジオの聴き方）な操作手順を説明します。本製品もしくはポータブルオーディオを初めてご使用になられる方は必ずお読みください。

オーディオファイルを再生する

まずはじめにサンプル曲を再生しながらボタンの操作感覚（**短く押す・長く押す**）をマスターしましょう！

**※本取扱説明書で使用しているディスプレイ画像はイメージです。
実際にご使用になられる場合と各表示は異なります。**

POINT

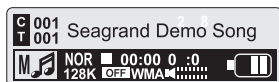
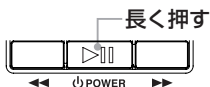
X-Air の⏻**POWER** / ▷II ボタンと **MENU** ボタンは、短く押したときと、長く押したときで、操作内容が変わります。

本操作手順では、ボタンを**短く押す**場合は【**短く**押す】、**2秒以上押し続ける**場合は【**長く**押す】と表記しています。

※ファイル名が日本語の場合はディスプレイ表示も日本語になります。

電源を入れる・切る

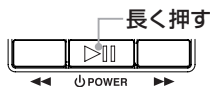
1. ⏻**POWER** ボタンを**長く**押します。

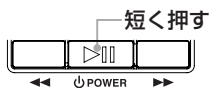
→ X-Air に電源が入り、ディスプレイにオーディオファイルが表示されます。

※保存曲数が多いと起動に若干時間がかかる場合があります。

2. ⏻**POWER** ボタンを**長く**押します。

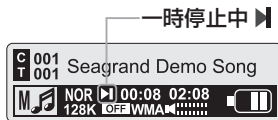
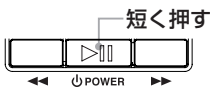
→ **POWER OFF** と表示され、電源が切れます。

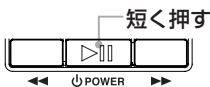
POWER OFF

基礎編

再生・一時停止

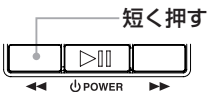
1. 電源を入れ、▷II ボタンを**短く**押します。

→ 曲が再生されます。

2. 再生中に ▷II ボタンを**短く**押します。

→ 曲が**一時停止**されます。

3. 再度 ▷II ボタンを**短く**押します。

→ 一時停止したところから曲が再開されます。

頭出し再生

1. 再生中に ◀◀ ボタンを**短く**押します。

→ 再生中の曲の頭から再生されます。

※複数のオーディオファイルがある場合、再生から **5** 秒以内にボタンを押すと 1 曲前の曲が再生されます。

※頭出し再生の詳細については応用編（**P.64**）色々な再生方法をご参照ください。

基礎編

早送り再生

1. 曲が再生されている状態で ▶▶ ボタンを押し続けます。

→ 押した長さだけ曲が早送り再生されます。

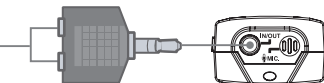
巻き戻し再生

1. 曲が再生されている状態で ◀◀ ボタンを押し続けます。

→ 押した長さだけ曲が巻き戻し再生されます。

POINT

早送り再生・巻き戻し再生中は音は**無音**になります。

付属の**スプリッタージャック**を使用すると、二人で音楽を聴くこともできます。この場合音が小さくなります。

ボリューム（音量）の調整

1. 曲が再生されている状態で **VOL ＋**ボタンを押します。

→ ボリューム（音量）が大きくなります。

※一時停止状態でもボリューム調整をおこなうことができます。

2. 曲が再生されている状態で **VOL －**ボタンを押します。

→ ボリューム（音量）が小さくなります。

注意！

電池残量が少ないと正常にボタン動作できない場合があります。その場合はディスプレイの**電池レベル表示**を確認し、残量が少ない場合は新しい電池と交換してください。

再生時にボリュームが上がりすぎていると、突然大きな音が鳴って耳を傷めることがあります。ボリュームは再生しながら徐々に上げていきましょう。

大きな音量で長時間続けて聴くと耳を刺激しすぎてしまい、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聴く場合は注意し、周囲の音が聴こえるくらいの音量でお聴きください。

音楽 CD を録音する（パソコン編）

Windows Media Player を使用して音楽 CD を録音します。ここでは、**Windows Media Player10** を使用した操作を説明します。

注意！

初めて **Windows Media Player** で CD を録音する時には**同期の自動・手動**、**コピー防止の選択**など、いくつかの**オプション**を**設定**する必要があります。ここでは**設定済と仮定**して操作説明をおこなっています。

Windows Media Player のより詳細な使い方は同アプリケーションの**ヘルプ**をご覧ください。

基礎編

Windows Media Player を使用する

1. **Windows Media Player10** を起動し、音楽 CD をパソコンのドライブにセットします。

※自動で再生が始まる場合は停止してください。

2. **取り込み**タブをクリックします。

→ 音楽 CD の曲目一覧が表示されます。

3. 録音する曲に**チェック**を入れます。（録音しない曲はチェックをクリックして外します。）

※初期設定ではすべてにチェックが入っています。

クリックするとチェックがはずれます。

4. **音楽の取り込み**をクリックします。

→ 音楽 CD の取り込みが開始されます。

5. 音楽 CD が取り込まれ、取り込まれた曲は**ライブラリに取り込み済み**と表示されます。

6. **ライブラリ**タブを**クリック**して、曲が取り込まれているか確認してみましょう！

取り込まれた曲リスト

注意！

Windows Media Player のより詳細な使い方は同アプリケーションの**ヘルプ**をご覧ください。

基礎編

オーディオファイルを X-Air に転送する

Windows Media Player を使って、録音したオーディオファイルを簡単に X-Air に転送することができます。転送すれば、いつでも手軽に音楽を聴くことができます。

Windows Media Player を使用する

1. **USB キャップ**を外し、パソコンの **USB ポート**に X-Air を接続します。

→ X-Air のディスプレイに **USB Connected** と表示され、**リムーバブルディスク**として認識されます。

※**準備（P.25）パソコンと接続する**をご参照ください。

ディスプレイ表示

2. **Windows Media Player** の**同期**タブを**クリック**し、**すべての音楽**を選択します。

→ **左ウインドウ**に曲リストが表示されます。

♪すべての音楽

曲リスト

3. 転送する曲に**チェック**を入れます。（転送しない曲のチェックをクリックしてはずします。）

※初期設定ではすべてにチェックが入っています。

4. 転送先から**リムーバブルディスク**を選択します。

→ **ウインドウ右**に X-Air 内のファイル / フォルダ一覧が表示されます。

5. **同期の開始**を**クリック**します。

→ 曲の同期が開始されます。

6. 同期が終了すると、**左ウインドウ**に**デバイスへ同期済み**と表示されます。

POINT

Windows Media Player の初期設定では同期されるオーディオファイルの階層は **MUSIC** フォルダ→**アーティスト名**フォルダ→ **CD タイトル**フォルダ→**オーディオ**ファイルとなっています。

X-Air（デバイス）の一番上の階層にオーディオファイルを同期させたい場合は同アプリケーション**ツールメニュー**の**オプション**から**デバイス→プロパティ**を選択し、**デバイスにフォルダ階層を作成する**のチェックを外してください。

基礎編

基礎編

注意！

オーディオファイルが持っている **DRM**（デジタル著作権管理）情報の内容によっては、X-Air に転送ができなかったり、転送しても再生できないことがあります。

X-Air に存在するファイルと同じ名前のファイルを転送すると、既存ファイルは上書きされます。

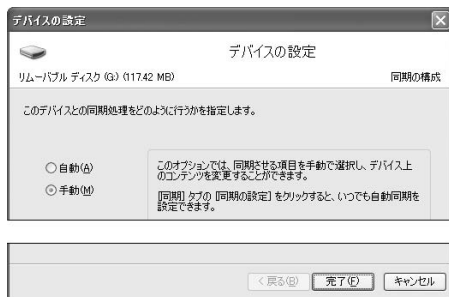
X-Air のパソコンへの接続および取り外しの詳細な手順、注意事項については**準備**（**P.25**）**パソコンと接続する**をご参照ください。

インターネットに接続されていない状態で録音 / 同期をおこなった場合、音楽 CD の持つ情報（曲名・アーティスト名等）の表示はおこなわれません。

転送中は、X-Air をパソコンから取り外さないでください。

Windows Media Player 9 以降をご使用ください。

Windows Media Player のより詳細な使い方は、同アプリケーションの **ヘルプ** をご覧ください。

自動同期について：Windows Media Player を起動した際に**デバイスの設定**ウインドウが表示されることがあります。この場合には**手動**にチェックを入れ、**完了**をクリックしてください。自動同期に設定すると転送がすべて自動でおこなわれ、任意のファイルのみを転送することができなくなりますのでご注意ください。

エクスプローラを使用したファイルのコピー

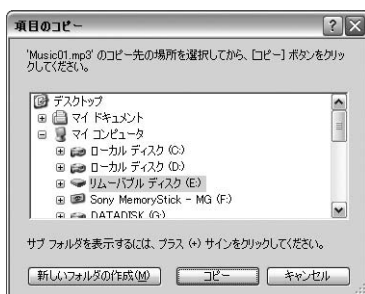
X-Air では **Windows Media Player** を利用したオーディオファイルの転送以外にも**エクスプローラ**を使用してファイルを複製（コピー）することができます。この方法を利用すればオーディオファイルだけでなく画像ファイルやテキストファイルもコピーでき、X-Air をモバイルメモリとして活用することもできます。

エクスプローラを使用する

1. X-Air に複製するファイルを**マウス**で**クリック**し、選択します。

→ ファイルが選択され、アイコンが**反転表示**します。

2. **編集**メニューの**フォルダへコピー**を選択します。

→ **項目のコピー**ウインドウが開かれます。

3. **リムーバブルディスク**を選択し、**コピー**ボタンを**クリック**します。

→ コピーが開始されます。

基礎編

注意！

エクスプローラでファイルを X-Air にコピーすると以下の場合はオーディオファイルを再生できません。この場合は **Windows Media Player** の**デバイスの転送**を利用してオーディオファイルを転送してください。

※ **ダウンロード購入した DRM 情報が有効なオーディオファイルの場合。**

※ **CD からパソコンに録音したときに著作権保護機能が働いたとき。**

音楽 CD をセットしたパソコンの CD/DVD からファイルを直接コピーしても X-Air では再生できません。必ず一度 **Windows Media Player** を使用して音楽 CD をパソコンに録音してから X-Air にオーディオファイルを転送して下さい。

X-Air に存在するファイルと同じ名前のファイルを転送すると、既存ファイルは上書きされます。

X-Air のパソコンへの接続および取り外しの詳細な手順、注意事項については**準備**（**P.25** ～）**パソコンと接続する**をご覧ください。

ドライブ名は、お使いのパソコンの環境（ハードディスクの状態や外付け周辺機器の状態）により自動的に割り当てられます。（**P.26**）

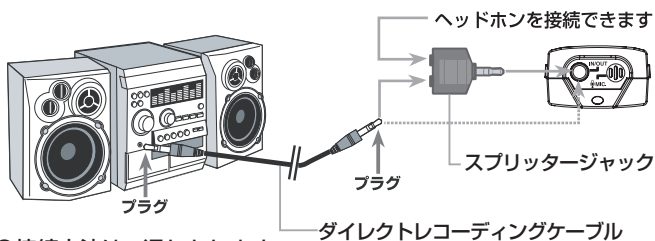
エクスプローラのより詳細な使い方はご利用のパソコン、**OS** の取扱説明書をご覧ください。ご不明な点はこれらの製造元にお問い合わせください。

本取扱説明書で紹介したファイルのコピー機能は Windows XP の機能となります。Windows XP 以外の OS をお使いの場合はファイルを選択し、**コピー / 貼り付け**で複製をおこなってください。

音楽 CD を録音する（ダイレクトレコーディング編）

パソコンを使わずに、X-Air だけで CD や MD プレーヤーなどのオーディオ機器から直接ライン録音（ダイレクトレコーディング）ができます。ライン録音には、付属の**ダイレクトレコーディングケーブル**が必要です。

オーディオ機器との接続

1. X-Air とオーディオ機器を付属の**ダイレクトレコーディングケーブル**で接続します。

●接続方法は 2 通りあります。

┈┈▶ **直接** X-Air **に接続する。**

──▶ **スプリッタージャックを介して** X-Air **に接続する。**

※付属品のスプリッタージャックを使用すると、音楽を聴きながら録音することができます。この場合録音される音が小さくなります。

注意！

接続するプラグや端子を間違えると正しく録音できません。接続する場合には充分確認をおこなって正しく接続してください。

2. X-Air の電源を入れます。（**P.32**）

※電源が入っている場合はそのままで OK です。

ダイレクトレコーディング

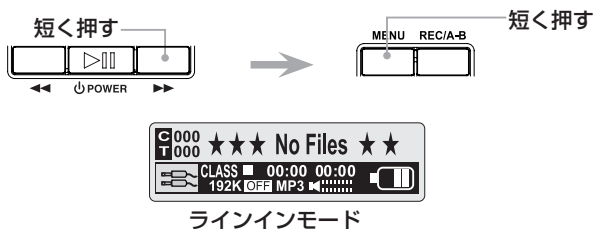
1. **MENU** ボタンを**長く**押します。

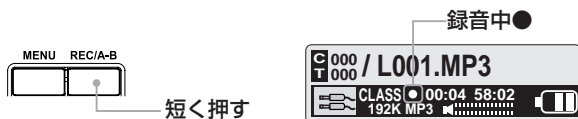
→ **モード選択**画面が表示されます。

モード選択画面

2. ►► ボタンを**短く何回か**押して**ラインイン**を選択し、**MENU** ボタンを**短く**押します。

→ **ラインインモード**が表示されます。

ラインインモード

3. **REC/A-B** ボタンを**短く**押します。同時にオーディオ機器を **PLAY** します。

→ 録音が開始され、ファイル名が表示されます。

4. **REC/A-B** ボタンを**短く**押します。

→ 録音が**一時停止**されます。

※ **再度 REC/A-B ボタンを短く押すと一時停止したところから録音が再開されます。**

5. **MENU** ボタンを**短く**押します。

→ 録音が**停止**され、オーディオファイルが表示されます。

（表示名例：**L001.MP3**）

POINT

録音されたオーディオファイルは X-Air 内の **LINE-IN** フォルダ内に保存されます。ファイルの選択、再生手順は**応用編（P.61) ナビゲーション機能 ファイルの選択・再生**をご参照ください。

録音の**音量レベル**は出力側の機器の音量に依存します。X-Air での音量レベルの調整はできません。事前に試し録音されることをお勧めします。

メモリに空きがないと **Disk Full** と表示されます。

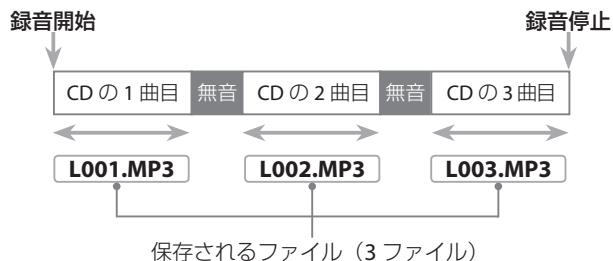
付属品の**スプリッタージャック**を使用すると、音楽を聴きながら録音することができます。この場合録音される音が小さくなります。

オートシンク：曲間の無音部分を検知し、曲ごとに録音ファイルを自動分割して保存でき、頭出しが簡単にできる機能です。**CD** や **MD** などからたくさんの曲をダイレクトレコーディングする際にとても便利です。初期設定では **On** に設定されていますが、**Off** に変更することもできます。オートシンクの詳細は**オートシンクについて（P.48）**をご参照ください。

オートシンクについて

オートシンクは、録音時に無音部分でオーディオファイル（曲）を分割保存する機能です。通常の録音方法では、録音開始から録音停止までがひとつのオーディオファイル（1曲）として本体内蔵メモリに保存されますが、オートシンク機能を使ってCDなどのように曲間に無音部分がある音源を録音すると、一度の録音作業で自動的に曲ごとにオーディオファイルを分割することができます。

オートシンク機能は、本体とオーディオ機器を接続してライン録音する**ダイレクトレコーディング**（**P.45**）時に利用できます。初期設定では**オートシンク**は**On**に設定されています。**Off**に設定したい場合は**応用編**（**P.72**）**録音品質の設定**をご参照ください。

基礎編

内蔵マイクで録音する（ボイス録音）

X-Air 内蔵のマイクで簡単にボイス録音することができます。ミーティング時やレッスン中などにボイスメモを残すことができます。

録音・再生

1. **MENU** ボタンを**長く**押します。

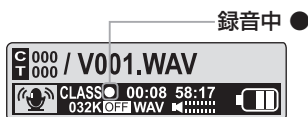
→ モード選択画面が表示されます。

2. ▶▶ ボタンを**短く**押して**ボイス**を選択し、**MENU** ボタンを**短く**押します。

→ ボイスモードが表示されます。

C 000
T 000 ★★★ No Files ★★
CLASS ■ 00:00 00:00
032K OFF WAV

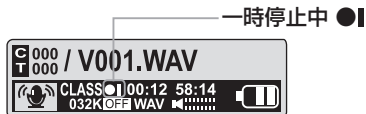
3. **REC/A-B** ボタンを**短く**押します。

→ ボイス録音が開始されます。

4. マイクに向かって何か話してみましょう！

5. **REC/A-B** ボタンを**短く**押します。

→ 録音が一時停止されます。

一時停止中 ●❙

C 000 / V001.WAV
T 000
CLASS ●❙ 00:12 58:14
032K OFF WAV

※ **再度 REC/A-B ボタンを短く押すと一時停止したところから録音が再開されます。**

6. **MENU** ボタンを**短く**押します。

→ 録音が停止されます。

7. ▷II ボタンを**短く**押します。

→ 録音した音声が再生されます。

（表示名例：**V001.WAV**）

注意！

録音時にイヤホンから聞こえる音量・音質は再生時のものと異なります。事前に試し録音をして、再生時の音量・音質をご確認ください。

内蔵マイクは**モノラルマイク**です。録音サウンド品質設定でステレオタイプを選択しても、実際にはモノラル状態での録音となります。

メモリに空きがないと **Disk Full** と表示されます。

FM ラジオを聴く

X-AirはFMラジオや1～3chのテレビ音声にも対応したFMチューナーが内蔵されています。76MHz ～ 108MHz の範囲内であれば海外でも利用できます。

注意！

X-Air は**イヤホンアンテナ方式**によって電波を受信します。FM ラジオを聴くときは、必ず**インナーヘッドホン**を**ステレオミニジャック**に正しく接続してください。

自動選局（オートプリセット）

1. **MENU** ボタンを**長く**押します。

→ モード選択画面が表示されます。

2. **FM ラジオ**を選択し、**MENU** ボタンを**短く**押します。

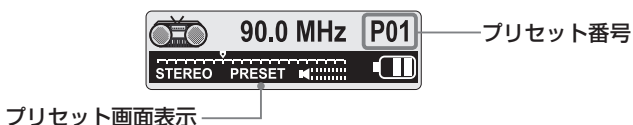
→ FM ラジオモードが表示され、自動選局（オートプリセット）が開始されます。

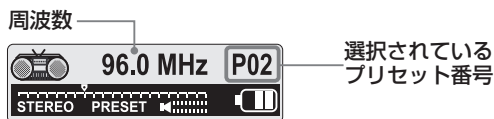
※選局が終わるまでしばらくお待ちください。

※電波が入りにくい場所ではオートプリセットがうまく機能しない場合があります。

X-Air お買い上げ直後やファームウェアアップデート後に **FM ラジオモード**を選択すると自動で**オートプリセット（自動選局）**が開始されます。

基礎編

3. **自動選局**（オートプリセット）が完了するとプリセット番号が **P01** と表示されます。

4. ▶▶ ボタンを**短く**押します。

→ 登録された周波数とプリセット番号が表示されます。

5. ▶▶ ボタンを**短く押しながら**プリセット番号を切り替え、登録された周波数を確認してみましょう！

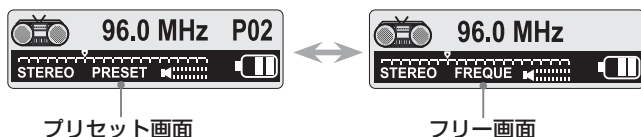
POINT

自動選局（オートプリセット）をやり直したいときは ▶▶ボタンを長く押してください。オートプリセットが開始されます。

1 ～ **3ch** の **TV 音声**を受信するには **98MHz** 以降の周波数に合わせてください。

手動選局

1. ▷II ボタンを**短く**押します。

→ **プリセット**画面（**PRESET**）と**フリー**画面（**FREQUE**）が切り替わり表示されます。

2. **フリー**画面を表示させ、◀◀ ▶▶ ボタンを**短く何度か**押します。

→ **0.1MHz** づつ手動で周波数を合わせることができます。

3. ◀◀ ▶▶ ボタンを**短く押しながら**手動で周波数を合わせてみましょう！

注意！

電池の残量が少ないと**ノイズ**が発生しやすくなります。電池残量が充分にあることを確認してご使用ください。

電波が入りにくい場所ではオートプリセットがうまく機能しない場合があります。

屋内や電車の中などでは電波が入りにくいことがあります。その場合は受信しやすい場所に移動してください。

FM ラジオ録音

1. **FM ラジオ**を聴いている状態で **REC/A-B** ボタンを**短く**押します。

→ 録音が開始されます。

2. **REC/A-B** ボタンを**短く**押します。

→ 録音が一時停止されます。

※ **再度 REC/A-B ボタンを短く押すと一時停止したところから録音が再開されます。**

3. **MENU** ボタンを**短く**押します。

→ 録音が停止し、**FM ラジオ**モードが表示されます。

POINT

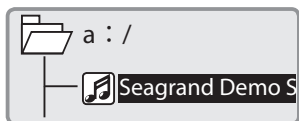
録音されたファイルは X-Air 内の **FM** フォルダ内に保存されます。ファイルの選択、再生手順は**応用編**（**P.61**）**ナビゲーション機能 ファイルの選択・再生**をご参照ください。

メモリに空きがないと **Disk Full** と表示されます。

曲（オーディオファイル）の選択

録音やファイルの転送によってメモリに保存した曲（オーディオファイル）は、ナビゲーション機能を使って簡単に探して再生することができます。**（音楽モード表示時）**

ナビゲーション画面の表示

1. **MENU** ボタンを**短く**押します。

→ ナビゲーション画面が表示されます。

曲の選択・再生

1. **VOL ＋**ボタンを**短く**押します。

→ 曲が表示されます。

2. ▷II　ボタンを**短く**押します。

→ 曲が再生されます。

POINT

ファイルの選択、再生手順の詳細は**応用編（P.61）ナビゲーション機能　ファイルの選択・再生**をご参照ください。

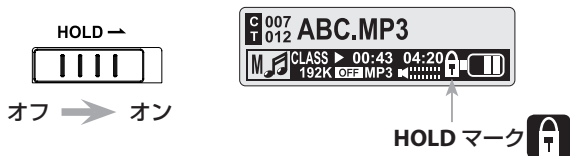
基礎編

誤動作を防ぐ（ホールド機能）

ホールド機能を使用すると、気づかないうちにボタンが押されてしまったりするといった誤動作を防ぐことができます。

ホールド設定

1. **HOLD スイッチ**を→方向に動かします。

→ ホールド機能が**オン**になり、ディスプレイに **HOLD** マークが表示されます。

2. **HOLD スイッチ**を→反対方向に動かします。

→ ホールド機能が**オフ**になり、ディスプレイの **HOLD** マークが消えます。

POINT

HOLD 機能をオンにすると、電源のオン / オフ操作もおこなえません。

HOLD 機能をオンにしたまま電源を入れると **POWER OFF** と表示され、電源がオフになります。

基礎編

応用編

応用編では X-Air のメニュー操作、各種設定項目を説明します。基礎編と併せてお読みください。

モードメニューについて

X-Air には**音楽** / **ボイス** / **ラインイン** /**FM ラジオ** / **セッティング** / **削除** / **プレーヤー情報**の 7 つのモードがあります。ここではモードの切替と種類について説明します。

モードメニューの切替

1. **MENU** ボタンを**長く**押します。

→ モード選択画面が表示されます。

※初期設定では音楽モードが選択されています。

2. ▶▶ ボタン（**右**に移動）、◀◀ ボタン（**左**に移動）を**短く**押しながら切り替え、**モード**を選択し、**MENU** ボタンを**短く**押します。

→ 選択したモードが表示されます。

※選択されたモードは反転表示され、ディスプレイ右にモード名が表示されます。

音楽モード

メイン画面です。オーディオファイルの**再生**等をおこないます。

（基礎編 **P.32** ～／応用編 **P.61** ～）

応用編

ボイスモード

ボイス録音や、**再生**をおこないます。（基礎編 **P.49** 〜）

ラインインモード

外部オーディオ機器からの**録音**をおこないます。
（基礎編 **P.45** 〜）

FM ラジオモード

FM ラジオの**受信**、**録音**、**周波数設定**をおこないます。
（基礎編 **P.51** 〜）

セッティングモード

録音品質や**音質設定**などさまざまな設定をおこないます。
（応用編 **P.66** 〜）

削除モード

X-Air 内の**ファイル**の**削除**をおこないます。
（応用編 **P.79**）

プレーヤー情報モード

X-Air の**メモリ使用量**と**メモリの空き容量**を表示します。
（応用編 **P.78**）

POINT

モード選択画面を表示して何も操作せず**約 10 秒間**経過すると**メイン画面（音楽モード）**に戻ります。キャンセルボタンはありません。

ボイスモード・ラインインモードを選択すると**録音待機状態**となります。

注意！

音楽モードからモード選択画面を表示する時は **MENU** ボタンを**長く（2 秒以上）**押してください。**短く**押すと**ナビゲーション画面**が表示されます。

ナビゲーション画面が表示された場合は ◀◀ ボタンを**短く**押すと**音楽モード**（メイン画面）に戻ります。

ナビゲーション機能（ファイル選択）

録音やファイルの転送によってメモリに保存した曲（オーディオファイル）は、ナビゲーション機能を使って簡単に探して再生することができます。**（音楽モード表示時）**

ナビゲーション画面を表示する

1. **MENU** ボタンを**短く**押します。

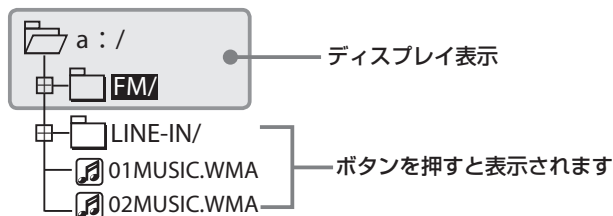
→ **ナビゲーション**画面が表示されます。

※ここでは FM フォルダが作成されているイメージです。

ファイルの選択・再生

1. **VOL ＋**ボタンを**短く何度か**押します。

→ フォルダ or オーディオファイルが切り替わり表示されます。

応用編

2. **VOL ＋ －**ボタンを**短く何度か**押してフォルダを選択し、▶▶ ボタンを押します。

→ フォルダ内のオーディオファイルが表示されます。

3. **VOL ＋ －**ボタンを**短く何度か**押します。

→ フォルダ内のオーディオファイルが切替わり選択されます。

4. 任意のオーディオファイルを選択し、▷II ボタンを押します。

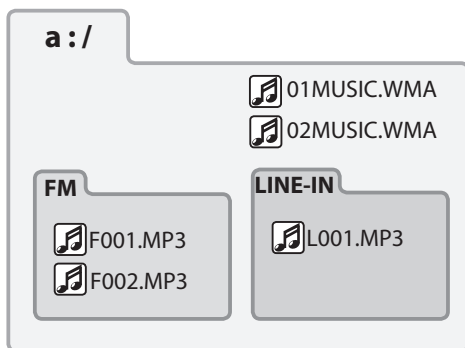
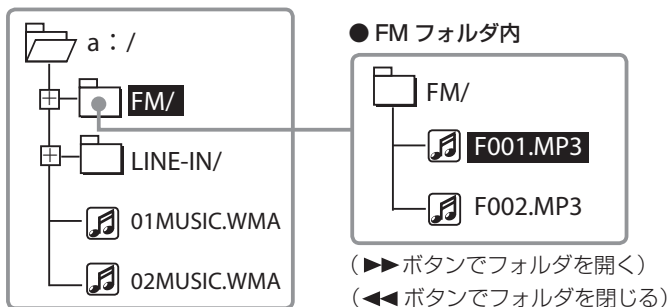
→ 曲が再生されます。

応用編

POINT

フォルダ・ファイル選択のボタン操作

●フォルダ選択→ VOL ＋・VOL －ボタン**（短く押す）**
●フォルダを開く→ ▶▶ ボタン**（短く押す）**
●フォルダを閉じる→ ◀◀ ボタン**（短く押す）**
●ファイルの選択→ VOL ＋・VOL －ボタン**（短く押す）**

● X-Air 内のフォルダ・ファイル階層イメージ

●**ナビゲーション表示**（VOL ＋－ボタンで選択切り替え）

注意！

ボイス録音したファイルは X-Air のナビゲーション画面ではファイル名**表示・再生**されません。ボイス録音したファイルを再生する場合には**ボイスモード**に切替をおこなってください。

パソコンに接続し、X-Air に保存した画像ファイル等は X-Air のナビゲーション画面では表示されません。

ボイスフォルダ、**ラインイン**フォルダ、**FM** フォルダは初期設定では作成されていません。それぞれの録音をおこなうと自動的に X-Air の一番上の階層に各フォルダが作成されます。

いろいろな再生方法

X-Air では、通常に再生する他にもランダムに再生したり、さまざまなリピート再生をおこなうことができます。

頭出し再生

1. 曲が再生・一時停止されている状態で ▶▶ ボタンを短く押します。

→ 次の曲に頭出しされ、再生されます。

2. 曲が再生・一時停止されている状態で ▶▶ ボタンを短く **2 回**押します。

→ 2 曲先に頭出しされ、再生されます。

3. 曲が再生・一時停止されている状態で ◀◀ ボタンを短く **2 回**押します。

→ ひとつ前の曲に頭出しされ、再生されます。

4. 曲が再生・一時停止されている状態で ◀◀ ボタンを**短く 3 回**押します。

→ 2 曲前に頭出しされ、再生されます。

応用編

A-B リピート設定

■一定区間 A → B を繰り返し再生します。

1. リピートしたい開始点で **REC/A-B** ボタンを押します。

→ 開始点 **A** が設定されます。

2. リピートしたい終了点で **REC/A-B** ボタンを押します。

→ 終了点 **B** が表示されます。

※曲の最後の部分には B ポイントを作成できない事があります。

POINT

前の曲に頭出し再生をおこなう場合、◀◀ ボタンを短く 1 回押すとその曲の頭から再生されるため、▶▶ ボタンを押す頭出し再生よりもボタンを押す回数が 1 回増えます。

※複数のオーディオファイルがある場合、再生から 5 秒以内にボタンを押すと 1 曲前の曲が再生されます。

A-B ポイントは 2 曲以上をまたがっての設定はできません。

曲の頭出しをおこなうと設定は失われます。

その他のリピート設定

ここでは**セッティング**メニューの**プレイモード**でリピート設定をおこないます。

■レコード設定手順
MENU ボタン→セッティング→プレイモード→リピート設定メニュー

1. **MENU** ボタンを**長く**押し、**モード選択**画面から**セッティング**を選択して、**MENU** ボタンを**短く**押します。

→ セッティングメニューが表示されます。

2. **プレイモード**を選択し、**MENU** ボタンを**短く**押します。

→ リピート設定メニューが表示されます。

3. **VOL+ −**ボタンで任意のリピート設定を選択します。

→選択したリピートが設定されます。

※選択されたリピート設定は反転表示されます。

リピートの種類

■ノーマル

曲順どおりに通常再生します。

■ 1 曲繰返し

1 曲のみ繰返し再生します。

■すべて繰返し

X-Air に収録したすべての曲を繰返し再生します。

■ランダム

曲順を自動で並び替え再生します。

■ランダムリピート

曲順を自動で並び替え繰返し再生します。

POINT

各設定画面は、何も操作せずに約 10 秒間経過すると自動的にメイン画面に戻ります。

リピート設定メニューで選択（メニュー表示が反転した状態）するだけで設定が反映されます。

音質の設定

X-Air では音楽ジャンルに最適化されたプリセットイコライザーとユーザー自身が任意に設定できるユーザー設定、臨場感のある立体音響を楽しめる SRS WOW エフェクトが用意されており、好みの音質で音楽を楽しめます。

■プリセットイコライザー設定手順
MENU ボタン→セッティング→イコライザー→イコライザー設定メニュー

■ SRS WOW 設定手順
MENU ボタン→セッティング→ SRS WOW → WOW/Tru Bass 設定メニュー

プリセットイコライザー設定

1. **MENU** ボタンを**長く**押し、**モード選択**画面から**セッティング**を選択して、**MENU** ボタンを**短く**押します。

→ セッティングメニューが表示されます。

2. **イコライザー**を選択し、**MENU** ボタンを**短く**押します。

→ イコライザー設定メニューが表示されます。

3. **VOL+ −**ボタンで任意のイコライザー設定を選択します。

→ 選択したイコライザーが設定されます。

※選択されたイコライザー設定は反転表示されます。

応用編

イコライザーの種類

■ノーマル

何も変更せず、楽曲の音を自然に再生します。

■ロック

低音域と高音域を強調します。ロック曲等に合うように調整してあるプリセットです。

■ジャズ

中音域と高音域を強調します。ジャズ曲等に合うように調整してあるプリセットです。

■クラシック

低音域を強く、高音域を強調します。クラシック曲等に合うように調整してあるプリセットです。

■ポップ

中音域と高音域を強調。ポップ曲等に合うように調整してあるプリセットです。

■ユーザー設定

ユーザー自身で好みの音質に設定できます。

- 80Hz/250Hz/1000Hz/4000Hz/12000Hz（**VOL ＋－で調整**）
- dB（**◀◀　▶▶　ボタンで調整**）

※ユーザー設定のメモとしてお使いください

POINT

各設定画面は、何も操作せずに約 10 秒間経過すると自動的にメイン画面に戻ります。

イコライザー設定メニューで選択（アイコン表示が反転した状態）するだけで設定が反映されます。

SRS WOW エフェクト設定

立体音響技術を使った **SRS WOW** のサウンドです。

SRS WOW エフェクトを設定すると、自然な立体音場感と豊かな低音、そして臨場感のあるサウンドを実現できます。

■ SRS WOW 設定手順
MENU ボタン→セッティング→ SRS WOW → WOW/Tru Bass 設定メニュー

1. **MENU** ボタンを**長く**押し、**モード選択**画面から**セッティング**を選択し、**MENU** ボタンを**短く**押します。

→ セッティングメニューが表示されます。

2. **SRS WOW** を選択し、**MENU** ボタンを**短く**押します。

→ SRS WOW 設定メニューが表示されます。

3. **VOL+ ー**ボタンで **WOW/TruBas/SPK SIZE** 設定を選択します。

※選択された設定は反転表示されます。

4. **WOW/TruBas** のスライダ設定を ◀◀ ▶▶ボタンで調整します。

応用編

5. **VOL ＋**ボタンで**戻る**を選択し、**MENU** ボタンを**短く**押します。

→ SRS WOW が設定され、セッティングメニューが表示されます。

SRS WOW エフェクト

■ **WOW**

再生音を**自然な立体音場感、豊かな低音、輪郭のはっきりとしたクリアーなサウンド**にする技術です。

■ **TruBas（Tru Bass）**

低音の出力がでにくい機器 (イヤホンや小型のスピーカー等) において、出力可能な音を最大限利用して実際には鳴っていない低音を感じさせる技術です。

■ **SPK SIZE**

Tru Bass で利用出来る音（イヤホン、スピーカーの特性) についての設定です。

H.P./40Hz/60Hz/100Hz/150Hz/200Hz/250Hz/300Hz/400Hz

POINT

スピーカーサイズ（**SPK SIZE**）の設定はご利用のスピーカーの再生周波数帯域のスペックを確認して設定してください。通常イヤホンやヘッドホンで音楽を聴く場合には **H.P.** に設定します。初期設定では H.P. に設定されています。

SRS WOW を設定するとプリセットイコライザー・ユーザーイコライザーの設定は反映されません。どちらかを選択することになります。

応用編

録音品質の設定

X-Air で録音するサウンドの品質の設定方法を説明します。X-Air では録音方法により品質を個別に設定できます。ご購入時にはお勧めの 3 タイプ（**MIC/FM/Line-in**）の設定になっています。もちろんユーザーが自由に設定することも可能です。

レコード設定

■レコード（録音品質）設定手順
MENU ボタン→セッティング→録音設定→録音設定メニュー

1. **MENU** ボタンを**長く**押し、モード選択画面からセッティングを選択し、**MENU** ボタンを**短く**押します。

→ セッティングメニューが表示されます。

2. **録音設定**を選択し、**MENU** ボタンを**短く**押します。

→ 録音設定メニューが表示されます。

3. **VOL+ −**ボタンで任意のメニューを選択し、◀◀ ▶▶ボタンで各品質を選択します。

→ 選択した品質が設定されます。

応用編

録音品質設定一覧

■ Source（設定する録音方法を選択します。）

・Mic：PCM/Mono/Internal/8000Hz/ - /Off

・FM：MP3/Stereo/Internal/44100Hz/96kbps/Off

・Line-in：MP3/Stereo/Internal/44100Hz/128kbps/On

■ Encoder（録音形式を選択します。）

MP3/PCM（WAV）

■ Channels

Stereo/Mono

■ Device

Internal

■ Rate（音質を設定します。）

32000Hz/44100Hz/48000Hz

■ Bitrate（音質を設定します。）

96Kbps/112kbps/128kbps/160Kbps/192Kbps/224Kbps/256Kbps/320Kbps

■ Sync（無音感知機能）

On/Off

※詳細は**基礎編（P.48）オートシンクについて**をご参照ください。

POINT

サウンドの品質は**サンプリングレート**（音をどのくらい細かく録音するか）もしくは**ビットレート**（1 秒間に転送できるデジタル信号の量）によって決まります。一般的にこれらの数字が高いほど高音質となりますが、データ容量（ファイルサイズ）は大きくなります。

その他の設定（セッティングモード）

ディスプレイ背景の色の変更や自動電源オフなど X-Air の持つその他の設定について説明します。

●各設定をおこなう前の共通の操作

1. **MENU** ボタンを**長く**押す。
2. **▶▶** ボタンで**セッティング**を選択し、**MENU** ボタンを**短く**押す。
3. **◀◀　▶▶** ボタンで各設定を選択し、**MENU** ボタンを**短く**押す。

●設定が終わったら

1. **MENU** ボタンを**短く**押す。**→セッティング**メニューに戻る。

※設定後、何も操作せず約 10 秒間経過すると自動的にメイン画面（音楽モード）に戻りますが設定は反映されています。

コントラスト設定

コントラスト
ディスプレイのコントラストを調整します。

レベルスライダを **◀◀　▶▶** ボタンで調整します。

●設定値：レベル 0 ～レベル 10

※初期設定では**レベル 6** に設定されています。

応用編

背景色設定

背景色
ディスプレイの背景カラーを設定します。

背景色を ◀◀　▶▶ ボタンで選択します。

●設定カラー：白・青・緑・赤・黄色・ライトブルー・紫・オート

※初期設定では**白**に設定されています。

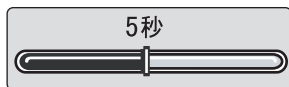
※オートを選択すると操作のたびに背景カラーが変更されます。

背景点灯時間設定

背景点灯時間
操作中のバックライトの点灯時間を設定します。

レベルスライダを ◀◀　▶▶ ボタンで選択します。

●設定値：0 秒〜 10 秒

※初期設定では **5 秒**に設定されています。

※点灯時間を長く設定すると電池の消耗が早くなります。

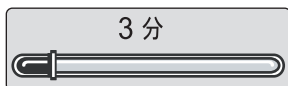
応用編

省電力設定

省電力設定
一定時間何も操作しなかった場合に自動的に電源を切る時間を設定します。

レベルスライダを ◀◀　▶▶ ボタンで選択します。

●**設定値：0 分〜 10 分**

※初期設定では **3 分**に設定されています。

言語選択

言語選択
ディスプレイ表示される言語の選択をします。

設定したい言語を **VOL ＋ －**ボタンで選択します。

●**言語の種類：英語・日本語・Simp.Chainese・Korian・Trd.Chainese・Russian・German・French**

※初期設定では**日本語**に設定されています。

英語
日本語

ID3 タグ設定

ID3 タグ
曲名などをディスプレイ表示する ID3 タグの表示・
非表示を設定します。

オン・オフを **VOL ＋ －**ボタンで選択します。

●**設定値：オフ・オン**

※初期設定では**オン**に設定されています。

ID3TAG オフ
ID3TAG オン

※ **ID3 タグについては用語集、付録（P.92）をご参照ください。**

応用編

その他の設定（モードメニュー）

X-Air に保存されたファイルの削除やメモリ容量等を確認します。

プレーヤー情報表示

1. **MENU** ボタンを**長く**押し、**モード選択**画面から**プレーヤー情報**を選択して、**MENU** ボタンを**短く**押します。

→ **メモリ使用量**と**メモリの空き容量**が表示されます。

※本体内蔵メモリ 256MB の場合

注意！

本体内蔵メモリの一部はファイルの管理やファームウェア（システムプログラム）が使用するため、合計サイズはご利用の X-Air に搭載されているメモリ容量よりも少なく表示されます。

ファイルの削除

1. **MENU** ボタンを**長く**押し、**モード選択画面**から**削除**を選択して、**MENU** ボタンを**短く**押します。

→ 削除メニューが表示されます。

※削除できるファイルはオーディオファイルとボイスファイルになります。パソコンからコピーした画像ファイル等はこのメニューでは削除できません。

2. ◀◀ ▶▶ ボタンで選択の切り替えをおこない、**MENU** ボタンを押します。

3. ◀◀ ▶▶ ボタンで削除したいファイルを選択し、**VOL** ＋ －ボタンで **Yes** or **No** を選択します。

4. **Yes** を選択するとファイルの削除がおこなわれ、ディスプレイに**削除完了**と表示されます。

POINT

ファイル削除時のボタン操作

- **ファイル選択→ ◀◀ ▶▶ ボタン**
- **Yes・No 選択→ VOL ＋ －ボタン**
- **削除実行→ MENU ボタン**

注意!

削除したファイルは元に戻せません。ファイルを削除するときは充分注意してください。

重要なファイルを誤って削除しないように、パソコンへのバックアップをお勧めします。

お客様または第三者が、本製品またはパソコンの誤使用、使用中に生じた故障、メモリの消失、その他不具合、または製品の使用によって受けられた損害については、当社は一切の責任を負いかねます。あしからずご了承ください。

困ったとき

X-Air を使いこなすためのヒントと、陥りやすいトラブルとその原因、対処方法について説明しています。弊社サポートセンターにお問い合わせいただく前に、この章の内容をご確認ください。

使用上のヒント

● **曲順を並べ替えたい**

曲順は、ファイル名をつかってその順番で再生されます。
再生の順番を変更するにはファイル名の最初の文字を半角数字で連番にしてください。

例：01music.mp3 ／ 02music.mp3 ／ 03music.mp3

● **録音した内容を保存したい**

本体をパソコンと USB 接続（**P.25**）し、エクスプローラなどで本体を開くと、本体内蔵メモリに保存されているオーディオファイル一覧を見ることができます。この中から保存しておきたいファイルをマウスで選び､パソコンにコピー（複製）できます。コピーしたオーディオファイルは、Windows Media Player で再生できます。エクスプローラを使ったファイルコピーの詳細は**基礎編（P.43）エクスプローラを使用したファイルのコピー**をご参照ください。

● **ポケットなどに入れていると勝手にボタンが押されてしまう**

ホールド機能を使うと、気付かないうちにボタンが押されるといった誤動作を防げます。**基礎編（P.56）誤動作を防ぐ（ホールド機能）**をご参照ください。

● **メモリを増設したい**

内蔵メモリの増設・交換はできません。

● **録音した曲ごとにファイルを分割したい**

本体で録音すると停止したところまでがひとつのオーディオファイルとして保存されます。曲ごとにファイルを分割したいときは、録音 / 停止の作業を繰り返してください。

CD や MD プレーヤーなどを本体のステレオミニジャックに接続してライン録音（ダイレクトレコーディング）する場合には、オートシンク機能を使うと、CD などの曲間（無音部分）を検知して自動的に曲ごとにオーディオファイルを分割できます。オートシンク機能の説明は**基礎編**（**P.48**）**オートシンクについて**をご参照ください。

トラブルシューティング

音楽モード

● WMA ファイルが再生できない

Windows Media Player の**デバイスへの転送**を使わずに、Windows の**エクスプローラ**などでファイルを本体にコピーすると、以下の場合はオーディオファイルを再生できません。

1. ダウンロード購入した DRM 情報が有効なオーディオファイルの場合
2. CD からパソコンに録音したときに著作権保護機能が働いたとき

いずれの場合もファイルの転送は Windows Media Player をお使いください。また、ビットレートが **32 〜 192kbps** の範囲を超えた WMA ファイルは再生できません。

2 の場合は、WIndows Media Player の**ツールメニュー→オプション**の**音楽の取り込み**タブで**取り込んだ音楽を保護する**のチェックを**オフ**にして音楽 CD から録音することで、再生が可能となります。

● MP3 ファイルが再生できない

本製品は、ビットレートが 16 〜 320kbps の範囲を超えた MP3 ファイルは再生できません。

困ったとき

FM ラジオモード

●ラジオがきれいに聴こえない

本体に搭載されている FM チューナーはイヤホンアンテナ方式のため、インナーヘッドホンを接続していないときれいに受信できません。FM ラジオを聴いたり録音するときは、必ずインナーヘッドホンを接続してください。

屋内や電車の中では電波が入りにくいことがあります。その場合は受信しやすい場所に移動してみてください。

●ラジオに雑音が多く混ざる

電池の残量が少ないとノイズが発生しやすくなります。電池の残量が充分であることを確認の上、お使いください。

録音

●録音できない

以下の点をご確認ください

1: 外部オーディオ機器と正しく接続しているか　基礎編（P.45）

2: メモリ残量が充分あるか

メモリ残量は、**モードメニュー**の**プレーヤー情報（P.78）**で確認できます。

●録音した音が悪い

サンプリングレートおよびビットレートの値が低いと、録音したオーディオファイルのサウンドクオリティーも低くなります。録音する目的に応じて、最適なサンプリングレートおよびビットレートを選んでください。詳細については**応用編（P.72）録音品質の設定**をご覧ください。

困ったとき

その他一般

●電源が入らない

以下の点をご確認ください。

1. 電池の残量が充分か

2. HOLD（ホールド）スイッチがオンになっていないか

●オーディオファイル /FM ラジオの音が鳴らない

以下の点をご確認ください。

1. インナーヘッドホンが正しく接続されているか

2. ボリュームが最小になっていないか

再生しようとしているオーディオファイルがパソコンでも再生できるか確認してください。（パソコンで再生できない場合はファイルが無音または壊れている可能性があります。）

●ファイルの転送やコピー、ペーストができない

以下の点をご確認ください。

1. ファイル名が長くないか

短いファイル名に変更するか、フォルダを作成しフォルダ内に転送してみてください。

2. メモリ残量が充分あるか

転送可能なメモリ残量はセッティングメニューのプレーヤー情報（**P.78**）で確認できます。

●メニュー操作中に画面が元に戻ってしまう

ディスプレイに表示されるメニュー一覧やモード選択画面は、何も操作せずに約 10 秒間経過するとメイン画面（音楽モード）に戻ります。

● Windows 2000/XP で付属ソフトウェアがインストールできない・フォーマットができない

Administrator、または Administrator 権限を持つユーザーでログオンしているかご確認ください。

● Windows Me でデバイスマネージャに緑色の×マークが表示される

この表示は仕様です。動作に問題ありませんので、そのままお使いください。

●通常操作ができなくなった

液晶表示されない、ボタン操作ができないなどの不具合が発生した場合はバッテリーカバーを外し乾電池を入れ直してみてください。

●ファイルの削除ができない

パソコンをご利用の方はパソコンに接続し、フォーマットをおこなってみてください。

付　録

製品の仕様

項目	仕様
仕様	MP3/WMA 再生対応 USB デジタルオーディオプレーヤー
本体寸法	29mm × 18mm × 75mm（H×D×W）
重量	約 24g（乾電池を除く）
ボディカラー	ブルー・ピンク・レッド・シルバー・ホワイト
内蔵メモリ	256MB・512MB・1GB
出力デバイス	3.5mm ステレオミニジャック
入力デバイス	3.5mm ステレオミニジャック 内蔵マイク
PC 接続インターフェイス	USB2.0(Type A)
S/N 比	FM チューナー：50dB 以上 オーディオ：90dB 以上
アンテナ	ヘッドホン / イヤホンアンテナ
受信周波数 (FM)	76.0MHz 〜 108.0MHz
再生周波数	20Hz 〜 20,000Hz
再生可能ファイル形式	MP3 形式、WMA 形式 *1
録音可能ファイル形式	MP3/WAV(PCM)
最大録音時間 *2	16 時間 (256MB)/32 時間 (512MB)/64 時間 (1GB)
連続使用時間	約 15 時間 *3
電源	単 4 型アルカリ乾電池
収録プログラム	専用ファームウェアアップデートプログラム Windows98SE 用ドライバソフトウェア
対応 OS	Microsoft Windows98SE / Me / 2000 / XP *4
必要機器	CD-ROM ドライブ USB ポート（USB2.0 HI-SPEED 対応、USB1.1 ポートに接続した場合には、Full Speed モードでの接続となります)
パソコンの必要スペック	PentiumⅡ以上の機能を持つ CPU
必要搭載メモリ	128MB 以上
ハードディスクの空き容量	100MB 以上の空き容量（オーディオデータを含まず）*5
その他	インターネットに接続できる環境 Internet Explorer 4.01SP2 以降 Windows Media Player9 以降

*1. MP3(16kbps ～ 320kbps)　WMA(32kbps ～ 192kbps)、可変ビットレート (VBR) でエンコードされた物もこの範囲を逸脱した場合には再生が正常ではなくなる場合があります。WMA は DRM 対応ですが、購入された楽曲については全ての楽曲の転送を保証する物ではありません。

*2. 最大録音時間はメモリが空の状態で録音を行った場合となります。（WAV 形式 8000Hz で録音した場合）

*3. ボリューム設定 10、MP3(128kbps) ファイルを連続再生した場合で新品のアルカリ乾電池を利用した場合。電池の消耗状況、および利用環境により使用時間は変動します。

*4. いずれの OS も日本語版で、アップグレードインストールでない環境。また、Windows2000 環境の場合にはサービスパック (SP2 以降) がインストールされている事。上書きインストールした環境、OS が正常に動作していない環境は除きます。

*5. 別途オーディオデータを取り込む際はその為の容量が必要です。

用語集

●ファイル形式

オーディオファイルには、データの形式によっていくつかの種類があり、ファイル形式として分類されます。X-Air で再生できるファイル形式は **WMA/MP3** です。

WMA（Windows Media Audio）

Microsoft 社が開発した音声圧縮フォーマットです。Windows に標準装備されている Windows Media Player で音楽 CD を WMA ファイルにできます。

MP3（MPEG Audio Layer-3）

オーディオ CD 並みの音質で、データ量を約 10 分の 1 に圧縮できる音声圧縮フォーマットです。

● ID3 タグ

MP3 オーディオファイルに、曲名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンルなどの情報を加えて、再生時にプレーヤー上に表示するための規格です。ID3 バージョン 2 からは、歌詞などの情報もオーディオファイルに持たせることができます。本製品では、曲名情報を持っている場合に ID3 タグを認識して表示することができます。

● DRM（デジタル著作権管理機能）

デジタルデータの著作権を保護する技術で、音楽配信サイトなどからダウンロード購入した WMA などのオーディオファイルは、DRM 情報が含まれています。通常、DRM で保護されているオーディオファイルはダウンロードしたパソコンでのみ再生でき、他のパソコンやプレーヤーにコピーや転送をしても再生できません。しかし、本製品は WMA ファイルの DRM に正規に対応しており、Windows Media Player を使ってファイルを転送した場合に限り、オーディオファイルを再生できます。

ただし、DRM 情報に「ポータブルプレーヤーへの転送不可情報」や、「転送可能回数制限」などが含まれているときは、ファイルの転送や再生ができない場合もあります。このように、本製品は必ずしもすべての WMA ファイルの再生を保証するものではありません。

Windows Media Player 以外の方法（エクスプローラを使ったファイルコピーなど）でファイルを転送すると､再生制限がかかり本製品では再生できません。ファイルの転送には Windows Media Player をお使いください。

● **Windows Media Player**

Windows に標準装備されているマルチメディアコンテンツ再生ソフトウェアで、音声や動画の再生が楽しめます。Microsoft 社が無償で配布しており、最新はバージョン 10 です（2005 年 10 月現在 / ただしバージョン 10 は Windows XP のみで使用可能）。

● **USB マスストレージクラス**

USB ポートにハードディスクなどの外部記憶装置を接続するための規格です。

この規格に対応した機器は、パソコンとの間でデータ（ファイル）のアップロード / ダウンロードが可能となるだけでなく、エクスプローラなどのアプリケーションを利用してデータを読み出せます。また、USB マスストレージクラス対応機器を WindowsMe/2000/XP ではじめて使う場合に、パソコンに USB 接続するだけで自動的に認識され、ドライバーソフトウェアがインストールされます（本製品を Windows98SE でお使いになる場合のみ、ドライバのインストールが必要です）。

● **SRS WOW**

SRS WOW とは、米 SRS 社が開発した音響技術で、基本となる立体音響技術 **SRS** と、パイプオルガンの低音再生技法を活用した、使用するスピーカーやヘッドフォンの最低再生可能周波数以下の重低音を無理なく再生させる技術 **TruBass**、そして音の輪郭を明確にする技術 **FOCUS** を組み合わせて最適化したものです。特に低音域が弱い小型・小口径のスピーカ / イヤホンで音楽を楽しむときに大きな効果が得られます。

SRS WOW は SRS Labs, Inc. の商標です。

WOW 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

ハードウェア保証規定

本取扱説明書の注意書きおよび付属の説明書に従った使用状況で、本製品が保証期間内に故障した場合、下記の保証規定の範囲内で無料修理をさせていただきます。
以下は、ハードウェアに関する保証規定を記載しております。ご使用前に、必ずお読みください。

【注意】

この保証は本製品のハードウェアに関するものであり、何らかのネットワークサービスの利用を保証するものではありません。
プログラム、データの使用、あるいは誤使用による損害または損失についての責任は負いません。

1.　保証対象

本保証書は本保証書記載の保証期間中（お買い上げ日当日より起算して 1 年間）、本商品の本体のみを保証対象とするものです。添付品類（インナーヘッドホンを含む）は消耗品となり、保証書記載のお買い上げ日当日より 14 日間の初期不良期間に限り、同様の保証を行わせて頂きます。

2.　保証の内容

(1) 製品が取扱説明書記載の通常の使用方法により保証期間中に正常に動作しなくなった場合は、弊社にて検証を行った後、無料での修理または同等商品との交換を致します。修理の為交換された旧製品、旧部品等の返却は致しかねますので、ご了承ください。なお、データの消失等については、一切保証致しかねますので、予めご了承ください。

（2）以下のような場合には、無料での修理、または交換は致しかねます。

1）弊社製品と判断出来ない場合

2）本保証書の呈示がない場合

3）本保証書の所定事項 (お名前、ご住所、販売店欄等) の未記入、または字句を書き換えられた場合

4）本製品の自然消耗に起因する故障または損傷

5）火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷

6）お買い上げ後の輸送、移動時の落下などお取り扱いが不適当なため生じた故障または損傷
（歩行中に製品を落とすなどして破損したものについても保証対象外になります。）

付録

7）ご使用時の不備あるいは接続している他の機器によって生じた故障または損傷

8）取り扱い説明書の記載内容に反するお取り扱いによって生じた故障または損傷

9）弊社以外で分解、改造、調整、部品交換などをされた場合

10）消耗品の交換

11）本製品の外装、および内部部品が破損している場合

12）その他、修理もしくは交換が認めがたい行為が発見された場合

3. 保証対象外の有料修理または交換

（1）保証期間経過後、または上記 2 項 (2) の各項目のいずれかに該当する修理もしくは交換の申し出に対しては、弊社の判断で有料での修理、または同等商品との交換を致します。修理の為交換された旧製品、旧部品等の返却は致しかねますので、ご了承ください。なお、データの消失等については、一切保証致しかねますので、ご了承ください。

（2）次のような場合には、有料での修理、または交換は致しかねます。
この場合は修理、交換をお受けせず、送付された製品を返却させて頂きます。

1）弊社製品と判断出来ない場合

2）損傷が著しい場合

3）弊社以外で著しい分解、改造、調整、部品交換などをされた場合

4）その他交換が認めがたい行為が発見された場合

■保証期間経過後の修理について

この保証規定は、規定内で明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてはご不明な場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

本保証規定は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

アフターサービスについて

本製品が正常動作しなくなった場合は、現象、環境等の詳細をサポートセンターまでお知らせください。

状況を確認の上、修理が必要な場合はサポートセンターよりご案内させていただきます。

シーグランド サポートセンター

・TEL：ナビダイヤル 0570-050250　（携帯・PHS）03-5319-5711

・FAX：ナビダイヤル 0570-050350　（携帯・PHS）03-5319-5718

お電話をいただいた時間によっては、サポートセンターの電話が繋がりにくい場合がございます。その場合は、誠に恐れ入りますが、しばらく時間を置いてからからおかけ直しくださいますようお願いしたします。

・E-MAIL：nsup@seagrand.co.jp

・ホームページ：http://www.seagrand.co.jp/support/index.shtml

・電話対応時間：**月曜日～金曜日（祝祭日を除く）**
10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00

■発送していただく際の送料について

発送時の費用はお客様負担、返送時の費用は、無償修理および交換の場合は弊社負担、有償修理の場合はお客様負担とさせていただきます。製品到着後、修理もしくは交換品の手配が整いしだい、順次返送させていただきます。

■送付していただくもの

・**本製品**
・**保証書**（保証書に購入店、購入店印、購入日の記載がない場合は無効です）
・**現象について記載したメモ**

【注意】

修理の際、本体内蔵メモリに保存されていたファイルについては保証いたしかねますのであらかじめご了承ください。

本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

■ユーザー登録のご案内

シーグランドは、ユーザー登録されたお客様に対して、サポートやバージョンアップのご案内など、各種サービスを実施させていただきます。同梱されている「ユーザー登録はがき」に必要事項を記入の上、ご登録手続きをしてください。なお、弊社ホームページからもユーザー登録ができます。

http://www.seagrand.co.jp/regist/index.shtml

サポートセンターのご案内

本製品の操作上の疑問や不明点もしくは動作の不具合などは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

弊社サポートセンターにお問い合わせいただく前に、まず本取扱説明書をよくお読みになり、特に「使用上のヒントとトラブルシューティング」（**P.82** ～）をご参照ください。

インターネットをご利用できる方は、弊社ホームページで製品発売後に発見された不具合やその対策などの最新情報を公開しております。弊社サポートセンターにお問い合わせいただく前に、一度弊社ホームページの FAQ をご覧ください。

シーグランド サポートセンター

・TEL：ナビダイヤル 0570-050250　（**携帯・PHS**）03-5319-5711
・FAX：ナビダイヤル 0570-050350　（**携帯・PHS**）03-5319-5718

お電話をいただいた時間によっては、サポートセンターの電話が繋がりにくい場合がございます。その場合は、誠に恐れ入りますが、しばらく時間を置いてからからおかけ直しくださいますようお願いしたします。

・E-MAIL：nsup@seagrand.co.jp
・ホームページ：http://www.seagrand.co.jp/support/index.shtml
・電話対応時間：**月曜日～金曜日（祝祭日を除く）**
10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00

- E-MAIL や FAX でのお問い合わせの際には、ご連絡先や質問事項、ご利用機器の構成（OS やパソコンの機種名、メモリ、空き容量など）をできるだけ詳しくご記載ください。
- トラブルの状況によっては、調査のためお時間を頂戴することがあります。あらかじめご了承ください。
- Windows の使い方やパソコン固有の問題に関しては、各製品のサポートセンターへお問い合わせください。
- 弊社で動作保証している機器以外の組み合わせでご利用になられた場合の不具合に関しては、弊社ではサポートいたしかねます。
- お問い合わせいただいた順に回答させていただきますが、内容により前後する場合がございます。

個人情報保護に関するポリシー

●情報保護方針

弊社では以下の通り「情報保護方針」を定め、個人情報の適切な保護に努めます。

・個人情報保護の重要性について、従業員に対する教育活動を実施するほか、個人情報保護の管理責任者を置き、適切な個人情報保護の実施、維持、継続的改善に努めます。

・情報への不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などを未然に防ぐよう努めます。

・個人情報の収集、利用、提供を行う場合には、業務実態に応じた個人情報の適切な管理に努めます。

・情報に関する法令、およびその他規範の遵守に努めます。

●個人情報の利用目的について

ご登録いただいた個人情報は、下記の目的で利用させていただく場合があります。

・サポートサービスをご利用いただく場合のご本人様の確認

・製品をご利用いただくにあたって、弊社が必要と判断した場合のメールなどでのご連絡

・社内統計資料作成（新製品開発での製品別利用者の年齢構成、性別構成等）

・アップグレード販売、優待販売等へのご案内

●第三者への提供について

上記目的で個人情報を利用するために必要な範囲内で、ご入力いただいたお客様の個人情報を第三者に提供する場合があります。例えば、アップグレード販売、優待販売等での円滑な発送作業を行うためにビジネスパートナーである発送・運送業者等に情報を提供する場合などです。

上記の場合以外では、事前にお客様のご同意をいただかない限り、弊社はお客様の個人情報を第三者には提供いたしません。お客様が弊社製品の販売会社に個人情報を提供された場合、その販売会社からお客様に、ダイレクト・メールや E-mail が届く場合があります。そのような情報提供を希望されない場合は、お客様が直接その販売会社に情報提供の停止を表明する必要があります。弊社は、業務委託先に対しても個人情報を保護するよう義務付けています。

但し、人の生命、身体又は財産を保護するために緊急を要する場合、司法機関、警察等の公共機関による法令に基づく要請に協力する必要がある場合、その他法令に基づく場合には、お客様の事前のご同意を得ずに第三者に提供することがあります。

索　引

Xair

索引

数字・アルファベット

索引

お問い合わせ承り書（トラブルシート）

以下に必要事項をご記入の上、サポートセンターまで FAX にてご送信ください。

シーグランドサポートセンター 行

FAX：ナビダイヤル 0570-050350 IP 電話からは→ **03-5319-5718**

お問い合わせの際は、できるだけ詳しい情報をご提供ください。
処理の手順やエラーメッセージなどを具体的にご記入ください。
パソコンとの接続に関するトラブルの場合は以下の項目も併せてご記入ください。
●パソコン名（メーカー）● OS ●ハードディスク容量●メモリ容量
●その他、パソコンご利用環境

送付日：　　年　　月　　日

お名前（ふりがな）	
製品名：**X-Air**　・容量（　　　）・色（　　　）	
ご購入店	ご購入日　年　月　日
ご住所 〒	
電話番号	
FAX 番号	
メールアドレス	
お問い合わせ内容	
ご希望回答方法　□電子メール　□ FAX	

※コピーしてお使いください

受付番号：

※受付番号は弊社使用欄です